

鏡野中学校三年 谷口 美咲

○早かった中学最後の夏休み

《宇佐見賞》

鏡野中学校二年 山本葉々子

○手にホタル光は私が独りじめ

川柳の部

〔小学生の部〕

《入選》

鶴喜小学校三年 居森 遥香

○里山でねころんでみて空を見た

《佳作》

鶴喜小学校四年 神野 智世

○いえのなかわらいごえがねひびいてる

鶴喜小学校四年 中江 那緒

○れいぞうこときどき開けてすすんでる

《宇佐見賞》

鶴喜小学校五年 宗元 早矢

○空見るととびとカラスが戦とう中

〔中学生の部〕

《入選》

上齋原中学校三年 小椋 優華

○台風よ勉強なんて吹きとばせ

《佳作》

鏡野中学校二年 中田 洸也

○夏休み宿題の待つ最終日

鏡野中学校二年 椋代 悠

○夕焼けの空に背を向け帰路につく

《宇佐見賞》

鏡野中学校二年 池田 凌

○ぎこちない首の振り方扇風機

第十八回 香々美川文芸選奨入賞作品

短歌部門

《大賞》

美作市 豊田 絢子

○夕焼けの光の破片をとり込みて里の大杉やをらに立ちをり

《香々美川賞》

兵庫県佐用町 中村千州代

○繊細なるレースのごとき裸木が向かう山の尾根に青空編み込む

《優秀賞》

美作市 豊福 恭子

○高台のなだりに並ぶ我が村を丸ごと映して川の平穏

《奨励賞》

岡山市 逸見 素行

○夢みつつ白いしぶきを上げながら流れろ流れろ川よ流れよ

《宇佐見賞》

美作市 我原 京(入矢 敏江)

○因幡へと越えゆく道に通り雨ぐり抜けてもまた通り雨

俳句部門

《大賞》

津山市 岸しのぶ(信子)

○少年の駆けて夏野の風となる

《香々美川賞》

鏡野町 瀬島百合子

○水打って風が織りなす夕ごころ

《優秀賞》

津山市 生田 作(穎作)

○代田澄むいづみ山系遠く置き

《奨励賞》

鏡野町 村上 富恵

○道の駅竜胆購ふ里心

《宇佐見賞》

久米南町 久住 尚子

○水澄むやランナー一人上流へ

川柳部門

《大賞》

岡山市 船越 洋行(洋之)

○源流を忘れないでと梅を干す

《香々美川賞》

岡山市 宮本 信吉(信吉)

○山彦は忘れていない国訛り

《優秀賞》

倉敷市 山本ひさゑ

○里山に人恋い揺れるソバの花

《奨励賞》

岡山市 山崎三千代

○難聴が稲穂の声を聞き分ける

《宇佐見賞》

玉野市 立花 正廣

○ふるさは昔のほうがずっと好き